

～日本の「暮らしの知恵」を  
大江町で結び、次世代へ繋ぐ～

# 2025年度 活動報告

岩尾 美咲 | Iwao Misaki

---

人と暮らしと道具と喫茶

終結舎

syu-yu-sya



## 目次

- 私の原点とミッション
- 現場で動いた1年4カ月の軌跡
- 茅葺きが教えてくれたこと
- 最初の企画と「地域の声」
- 日本の知恵を伝える生活道具店
- 大江町を暮らしの実験場へ
- 移住者の店で終わらせない覚悟
- 事業計画とクラウドファンディング

## 私の原点とミッション



名前 おみちゃん (岩尾 美咲)

---

生年月日 1998年2月24日 (28)

---

出身地 横浜市 (祖父母の家が行積にあります)

---

前職 アパレルパタンナー  
個人ブランド「omi crafts.」

---

好きなこと 衣食住のものづくり/古き良きもの

---

移住のキッカケ 大量生産大量消費の社会への疑問

---



## チームみずす

ひとつの集落では担い手不足により解決が困難な課題を、福知山市大江町河守上地区「旧美鈴小学校」学区を“みずすの村”と命名し、その10集落の集落間連携により解決につなげ、地域の未来を一緒につくっていくコミュニティとして、地域づくりに取り組んでいる有志団体。

主な活動は「みずすフェスタ」や「みずすさんの日」など

メンバー：26人（内関係人口15人）

私の活動テーマ      地域活動の仲間づくり業務

半農半Xの暮らし方。ゆとろぎの里で新しい仲間をつなげよう。

---



## 目次

- 私の原点とミッション
- **現場で動いた1年4カ月の軌跡**
- 茅葺きが教えてくれたこと
- 最初の企画と「地域の声」
- 日本の知恵を伝える生活道具店
- 大江町を暮らしの実験場へ
- 移住者の店で終わらせない覚悟
- 事業計画とクラウドファンディング



現場で動いた1年4カ月の軌跡

2026年1月

夜座 初開催

おたのび26日  
松葉組 感謝パーティ

2月

中區公興

古田敬園栗隊公啓

3月

和泉屋公啓

4月

## 現場で動いた1年4カ月の軌跡

### 夜座 U-39dinner

大江の若者発掘  
関係人口作り



-ターゲット-  
20~40代の若者中心  
-内容-  
柗結舎  
毎月1回金曜日19時~  
準備から分担する  
古民家ならではの食事会

### 井戸端会議

大江の女性達の交流  
意見を聞く場所



-ターゲット-  
大江町在住の全ての女性  
-内容-  
常光寺事務局内  
不定期水曜日12~15時  
おかず持ち寄りランチ  
化粧品作りWS

### まち協×地域おこし 大江まちのたねの日

大江の未来を語る  
交流できる日



-ターゲット-  
大江でまちづくりしてる人  
移住者・事業者・住民  
-内容-  
オーケストラカレー等大江町内  
毎月1回木曜日19時~  
雑談/意見交換会

現場で動いた1年4カ月の軌跡

お米的地域おこしのstep1

散らばっている人と人を繋げてみる



共通の体験をする



話題が生まれる・仲良くなる



地域を考えるきっかけになるかも？

# 現場で動いた1年4カ月の軌跡

夜座-yaza-



移住してから同世代と会わない  
地域の同世代と知り合いたい！

参加者6~13人  
(U-39dinner)  
大江町の飲食店などに  
お弁当をお願いして食べる会

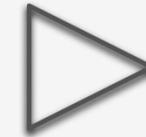
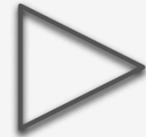
楽しいし盛り上がるけれど  
次に繋がらない。

- ・開催場所を常光寺から柗結舎へ
- ・2,30代の制限を外す
- ・会のタイトルを「夜座」へ
- ・古民家だからこそできる内容
- ・お酒を飲んで宿泊できるように
- ・自分たちで準備から片付けまで自主的に手伝ってもらう

参加者が10~20人へ  
関係人口が増える  
だだ大江町の人はい少ない  
…今後の課題へ

# 現場で動いた1年4カ月の軌跡

## 井戸端会議



大江の町づくりは男性が多い。  
地域の女性と知り合いたい！

過疎高齢化の影響により  
「婦人会」がなくなっている  
女性が繋がる キッカケが無い

参加者5~10人

大江地域の違う集落の人を知れる  
懐かしい同級生と会える  
お母さん達の料理が食べれる  
美味しいお店が知れる  
美味しそうに食べてくれる

家族以外の人と話すことが  
ほとんど無いので嬉しい！

私が直接関わりのない集落から  
参加者を集めるのが難しい！

各集落に1,2人ずつ集落内で  
声をかけをしてくれる女性を見つける

ラフチ会のみでの定期開催にする

地域の他の事業者と共催にする

# 現場で動いた1年4カ月の軌跡

## 大江 まちのたねの日



金曜日の午前中  
まち協大江支所などで行う会議  
私：大江町の未来を担う  
若い事業者の声を聞きたい  
まち協：移住者交流会をやりたい

参加者7~15人  
毎回様々な人が出入りしてくれる

移住者や若い事業者の  
参加がまだ少ない  
移住者や事業者同士が  
繋がっていない  
若いリピーターが少ない  
共通の体験が足りない!?

現場で動いた1年4カ月の軌跡

大江町リヤカースタンド

# 終結車

syu-yu-sya



## メニュー

- 大江町の果物を使ったシロップドリンク
- 大江町の食材を使った焼き菓子
- みすずのイメージのハンドドリップ珈琲

## 目的

- 大江町の資源を使った可能性の創出
- 地域を自ら回って地域の人と繋がるキッカケ作り
- 大江の良さを発信

現場で動いた1年4カ月の軌跡

柊結舎 syu-yu-sya



お客さん

地域内外の人とのつながり  
遠くに出られない住民と繋がる  
大江の農産物を生かした食べ物

農家さん

認知が高まってきた  
リピーターが多い

大江以外のイベントにも出店し  
大江町に足を運ぶキッカケを作る

私の家の食材を使った商品の自慢

使える食材を育てるキッカケに  
地域の人が畑をする楽しみに

シロップなどに使う果物意外も  
喫茶で使う野菜などを提供してくれる  
地域の畑をする住民と繋がる

現場で動いた1年4カ月の軌跡

お米的地域おこしのstep2

知り合いが増える



協力者少しづつ現る



自信ややる気が出てくる



気づけば地域の魅力を作る側に! ?

現場で動いた1年4カ月の軌跡

「場」を作れば人が自然に関わる  
役割がなくても町づくりの一員になる  
単発ではなく継続が必要



## 目次

- 私の原点とミッション
- 現場で動いた1年4カ月の軌跡
- **茅葺きが教えてくれたこと**
- 最初の企画と「地域の声」
- 日本の知恵を伝える生活道具店
- 大江町を暮らしの実験場へ
- 移住者の店で終わらせない覚悟
- 事業計画とクラウドファンディング

茅葺きが教えてくれたこと

缶詰屋根から始まった茅葺きとの出会いと経験



茅葺きが教えてくれたこと

共同作業と人の繋がり



茅葺きが教えてくれたこと



茅葺きが教えてくれたこと

先人の知恵と日本の暮らしの合理性

効率化に伴う  
環境汚染

結の関係と  
集落間連携の欠落

風土に合った  
無理のない暮らし

継承と郷土愛

失われつつある  
暮らしの知恵と技術

モノと暮らしの  
合理的な繋がり

職人の話や歴史を学ぶ中で見えてきた「屋根」の本質。

一人では維持できない、地域全員で支え合う「結」の必然性。

日本の気候風土に対する、1000年磨かれた「究極の合理的な形」

茅葺きが教えてくれたこと

先人の知恵と日本の暮らしの合理性

これは屋根だけの話ではない。

各地域で暮らしの知恵を知る世代が減ってきてしまっている今  
日本中の生活道具や暮らしの中に、この素晴らしい知恵が散らばっている。

それを拾い集め、解消していかなければならない。



## 目次

- 私の原点とミッション
- 現場で動いた1年4カ月の軌跡
- 茅葺きが教えてくれたこと
- **最初の企画と「地域の声」**
- 日本の知恵を伝える生活道具店
- 大江町を暮らしの実験場へ
- 移住者の店で終わらせない覚悟
- 事業計画とクラウドファンディング

最初の企画と「地域の声」

夜座-yaza-  
大江外の若者

井戸端会議  
地域のお母さん

たねの日  
事業者  
移住者

柊結車  
お店のファン  
農家

手伝い  
ワークショップ  
大江に通うキッカケ

日常的に集える場所  
おばんざい作り

加工品販売  
集える場所

大江に行くキッカケ  
野菜の提供

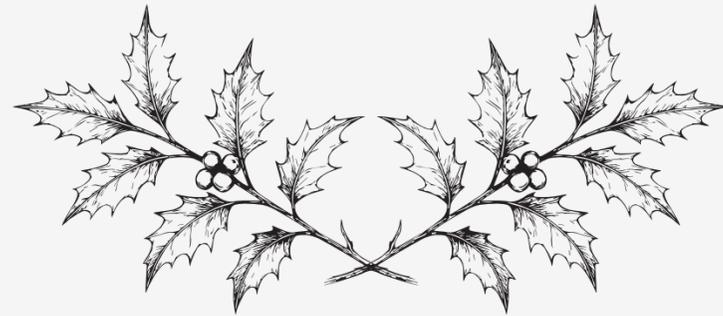


地域と繋がる  
道の駅

最初の企画と「地域の声」

MISUZU NO MURA  
community space cafe

柊 結 舎  
syuyusya



## 業務形態

- 周辺店舗や地域の野菜、加工品などの手土産
- 地域の食材を使った定食
- 棚田のお米を使ったアイス

## 目的

- 大江住民のハブとなる場所作り
- 関係人口やファン、定住促進
- 大江町の人と人とのつながりを残す

最初の企画と「地域の声」

食

地域の食材を使った定食  
焼き菓子やドリンク



土産

持ち帰れる地域の食材  
加工品



WS

地域と関係人口が  
同じ体験ができる場所



お米的地域おこしのstep3

人が集まる拠点ができる



記憶や顔見知りになる



地域内外が大江のファンになる



気づけば関係人口や移住者に！？

最初の企画と「地域の声」

大江町ならではの人や暮らしの良さに  
地域も地域外の人も気付くハブになりたい

コミュニティースペースの役割



大江町ならではの人や暮らし  
地域も地域外の人も大切にしたい

ありきたり！弱い！

コミュニティースペースの役割



大江町なら  
地域も地域外の

大江町での滞在時間が短いから  
ご飯を食べに来た後でも寄れる  
雑貨屋さんが欲しい

お店に来てくれた人が次行くところがなくて  
ずっとお店に居るのが少し困る  
案内できるところもない

コースの役割



最初の企画と「地域の声」

私、雑貨の方が得意やん。

最初の企画と「地域の声」

雑貨屋をするなら、私、やりたいことがあるやん。

足りなかったのはここにしかない私ならではのエッセンス



## 目次

- 私の原点とミッション
- 現場で動いた1年4カ月の軌跡
- 茅葺きが教えてくれたこと
- 最初の企画と「地域の声」
- **日本の知恵を伝える生活道具店**
- 大江町を暮らしの実験場へ
- 移住者の店で終わらせない覚悟
- 事業計画とクラウドファンディング

日本の知恵を伝える生活道具店

人と暮らしと道具と喫茶

終結舎

syu-yu-sya



## 業務形態

- 日本の暮らしの道具
- 地域のお母さんたちの家庭的なおばんざい
- 棚田のお米を使ったアイス
- ワークショップ

## 目的

- 大江住民のハブとなる場所作り
- 関係人口やファン、定住促進
- 大江町の人と人とのつながりを残す

最初の企画と「地域の声」

雑貨

ストーリーを伝える  
生活雑貨・古道具



食

地域の食材を使った定食  
焼き菓子やドリンク



土産

持ち帰れる地域の食材  
加工品



WS

地域と関係人口が  
同じ体験ができる場所



## 〈生活道具事業〉

例えば…

もののプロセスや想い

どんな人が  
どのように作ってるのか

歴史や背景

ものの歴史  
今の生産の現状

地域の風土や環境

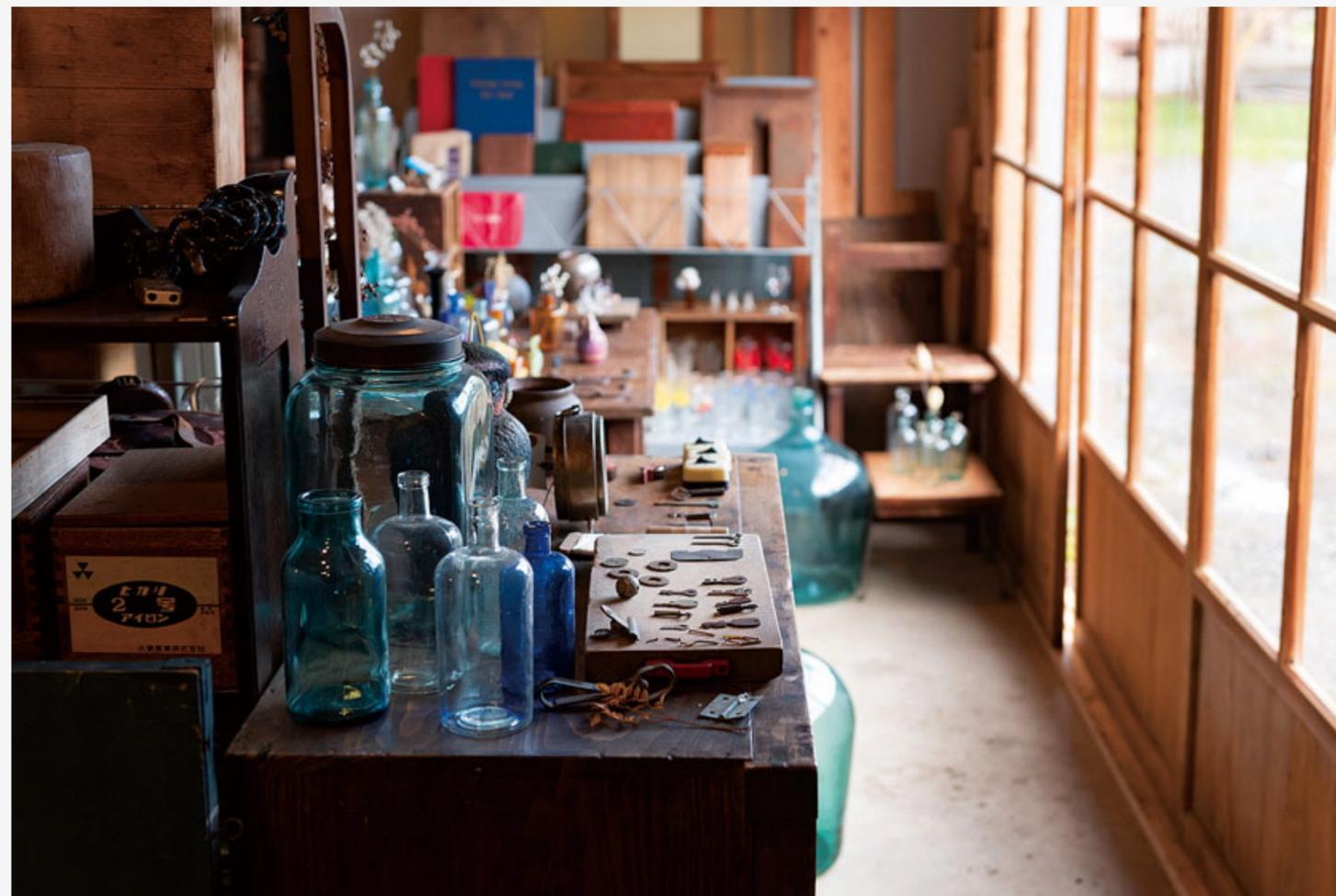
地域の特性など  
民俗的な成り立ち

大量生産・消費社会の中でのものの価値を改めて定義する

日本の知恵を伝える生活道具店

## 〈生活道具事業〉

地域から出る古道具



- どの地域から出たものか、いつ頃のものが、いつまで使われていたか等  
地域の話や聞くキッカケに。そしてそれをものの価値として伝える。
- 多くは地域から出ても捨てられる民俗資料の救出・保管。

日本の知恵を伝える生活道具店

# 〈生活道具事業〉

矢われゆく  
知識・技術の習得



買い付け



WS

出店

外部への  
情報発信

日本の知恵を伝える生活道具店

## 〈生活道具事業〉

2026年開催予定年間ワークショップ「土から作る味噌づくり with 86farm」



野田琺瑯



陶器



木樽

それぞれの生活スタイルや風土に合わせたものをそれぞれの特性を比較して選べる

〈生活道具事業〉

比較

ターゲット→ものの価値を知らない人

「良いモノ」「意味のあるモノ」で暮らす  
生活の豊かさに気づいてもらいたい

比較できて初めて価値が生まれる

日本の知恵を伝える生活道具店

## 〈飲食事業〉

ターゲット→ものの価値を知らない人



食が老若男女問わず人をつなぐ

日本の知恵を伝える生活道具店

## 〈飲食事業〉

おばんざいランチ



季節のフルーツシロップ  
とお米のアイス



ほほほっとサンド



雲海の時期限定  
卵かけご飯モーニング



できる限り地域の食材を使用した、ベースは家庭的な料理

日本の知恵を伝える生活道具店

## 〈飲食事業〉 おばんざいランチ

毎週金曜日に仕込み

地域のお母さん達と一緒に作ってもらう  
金曜朝の地域の朝市と地域の農家さんの食材を使う

土日：バイキング

地域外をターゲットにした客単価と話題性  
ホールが1人でも回る工夫

平日：お重定食

作り置きのお重定食を使った曜日限定15食の定食  
ホールが1人でも回る工夫



いつかは飲食は地域のお母さんたちだけで回せるようになることが目標

## 〈飲食事業〉 季節のフルーツシロップとお米のアイス

フルーツシロップ

地域の果物を氷砂糖に漬けたり煮込んだりのシロップ  
紅茶、牛乳、炭酸などで割り主にイベントで盛況

お米のアイス

毛原のお米を使ったアイス  
フルーツシロップ作りで出る果肉等を活用して味を展開

甘酒

アイスを作る時にお米の旨みを表現するための甘酒  
毛原住民が前に製造販売していたレシピを参考に道具もお借りする  
毛原のお米を使った麴を使って料理や加工品としての販売にも展開

加工品の販売で副収入を得る・広告にもなる



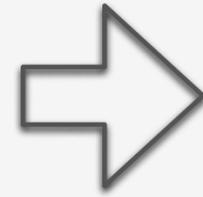


## 目次

- 私の原点とミッション
- 現場で動いた1年4カ月の軌跡
- 茅葺きが教えてくれたこと
- 最初の企画と「地域の声」
- 日本の知恵を伝える生活道具店
- **大江町を暮らしの実験場へ**
- 移住者の店で終わらせない覚悟
- 事業計画とクラウドファンディング

大江町を暮らしの実験場へ

地域向けイベント



地域の人々が地域を考えるキッカケ  
お店に人が集うキッカケづくり

映画上映会



地域の価値創出に向けた  
ワークショップ



井戸端会議



日常の当たり前前の再発見になるかも？

大江町を暮らしの実験場へ

関係人口の創出向けイベント ➡ 来てもらってキック作り

映画上映会



夜座-yaza-



24節気に合わせて  
ワークショップ



土から作る味噌作り  
年間プログラム



地域イベントに出向いたり、関係人口になってくれるかも？

移住者の店で終わらせない覚悟

柊 ひいらぎ  
SYU

- 鬼伝説の町「大江町」だからこそ  
鬼たちと人の暮らしを守るために古くから使われてきた柊を店名に入りたい。
- 昔ながらの風習を受け継ぐ場所という意味
- 邪気や災いを遠ざける意味
- 花言葉「用心深さ」「先見の目」「保護」「歓迎」「あなたを守る」

結 ゆい  
YU

- 昔の暮らしにあった「結」の仕組みを再構築するのが私のコミュニティースペースの目標。
- 「むすぶ」「つながる」「協力する」という意味
- 田植えや茅葺き、保存食作りなどのワークショップや、映画上映などで集落の人と人が繋がる。
- 関係人口や移住希望者、観光客と地域が繋がる。

舎 やどり  
SYA

- 「人が共にくらす小さな建物」「一時的に身を寄せる場所」の意味
- ワークショップを通じて学舎のような、新しい発見ができる場所のような意味
- 暮らしの延長線にある、心の拠り所のような意味

【柊結舎（車）】しゅうゆうしゃ（造語）

- 周遊の意味（いずれみすず内のさまざまな地域を柊結車（リヤカー屋台）で回る）

移住者の店で終わらせない覚悟

同じ体験を、同じ場所で共にすることが  
地域活動の仲間づくりに繋がる！



## 目次

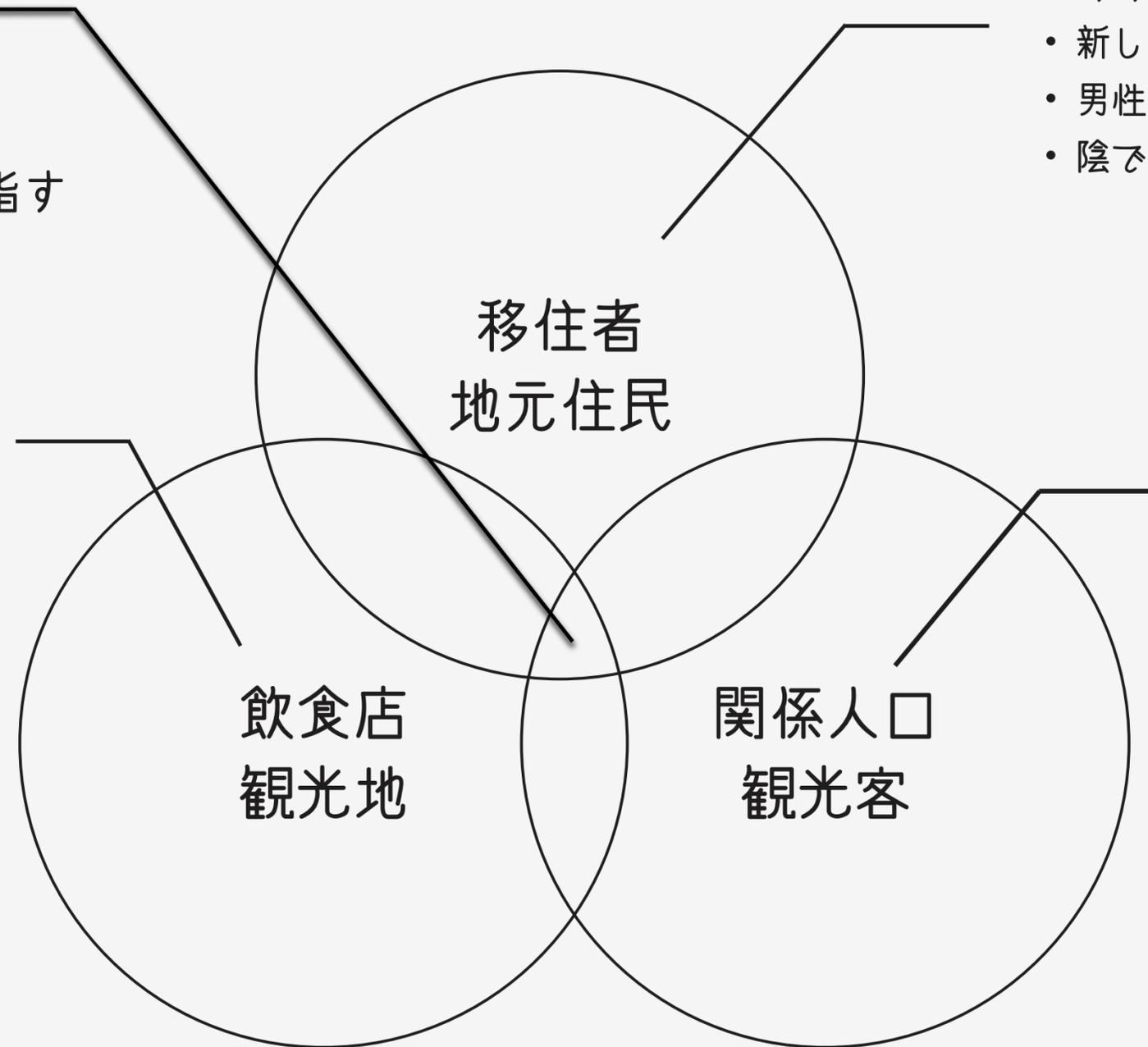
- 私の原点とミッション
- 現場で動いた1年4カ月の軌跡
- 茅葺きが教えてくれたこと
- 最初の企画と「地域の声」
- 日本の知恵を伝える生活道具店
- 大江町を暮らしの実験場へ
- **移住者の店で終わらせない覚悟**
- 事業計画とクラウドファンディング

移住者の店で終わらせない覚悟

人と暮らしと道具と喫茶  
**終結舎**  
syu-yu-sya

それぞれをつなげる役割を目指す

- 客数をもう少し上げたい
- 事業者同士が孤立してしている
- 人口減少に伴う今後の利益・担い手の心配
- 観光資源があるのにプロモーションが弱い



- おおらかな人柄
- 新しいことをするのは億劫
- 男性が中心の町づくり
- 陰で活躍する女性もちらほら

- 畑仕事やイベントの後に気軽に入るお店がない
- 食事や観光の後に寄る場所がない
- 地域の野菜やお土産を買いたい

移住者の店で終わらせない覚悟

大江町リヤカースタンド

終結車

syu-yu-sya

人と暮らしと道具と喫茶

終結舎

syu-yu-sya

コワーキングスペース

関係人口

私

農家と繋がる

より多くの地域住民と  
地域の事業者と繋がる

古民家のお試し住宅

地域

地域で繋がる  
畑を楽しみに

来てくれた人と繋がる  
畑をお金に

定住

地域外

大江を  
知る

地域と  
交わる

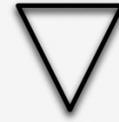
田畑  
活用

新規  
事業

移住者の店で終わらせない覚悟

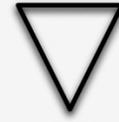
通り過ぎる町

関係人口・観光客

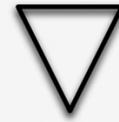


滞在する町

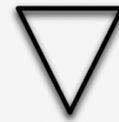
飲食店・観光地



記憶に残る町



暮らしてみたい町



暮らし続けたい町

移住者・地元住民

## 毛原ワンダービレッジプロジェクトとの関わり

### 1. 毛原食品加工場「毛楽里」で作った加工品の販売

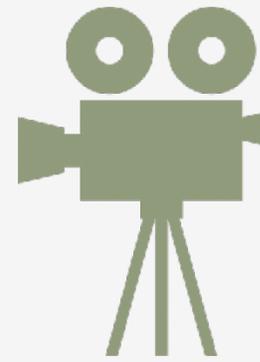
- パッケージの提案（リブランディングの提案）→店内の雰囲気統一される
- お土産や地域野菜を販売（少しお洒落な道の駅的ポジション）

### 2. 地域イベントへのあらゆる形での参加

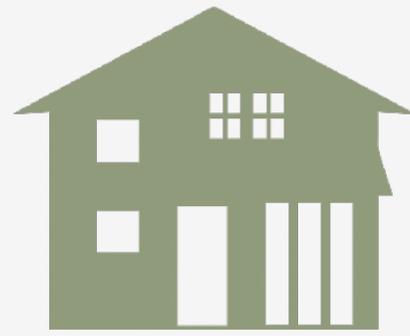
- 柘結車での屋台出店や、お弁当やケータリングなど

### 3. コワーキングスペースや加工所の使用による関係人口によるイベント

大江町を暮らしの実験場へ



イベント



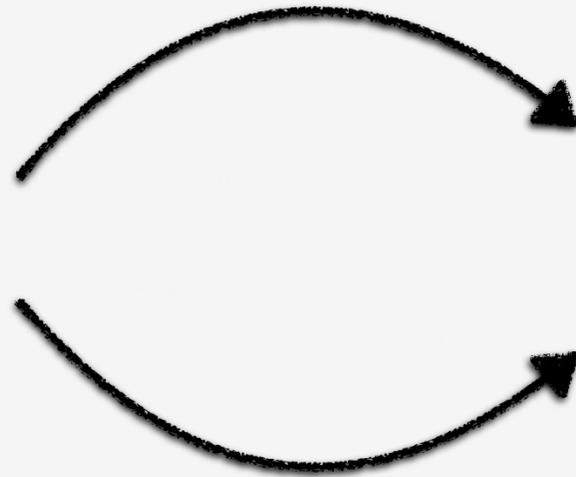
近隣飲食店



野菜やお米

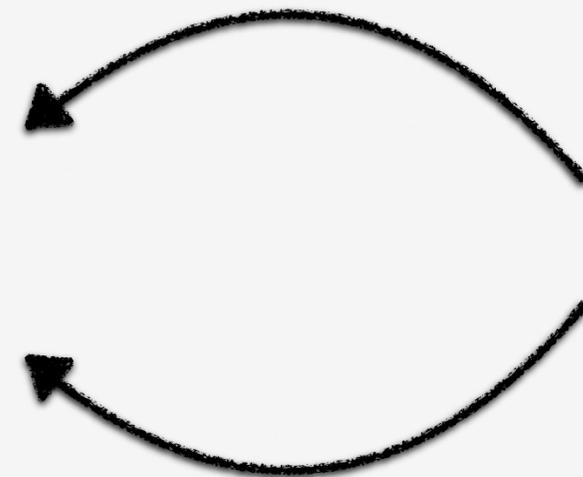
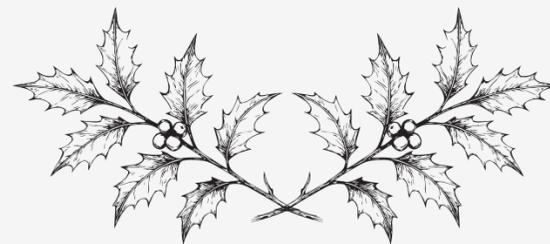


地域住民



MISUZU NO MURA  
community space cafe

柊 結 舎  
syuyusya



地域の農家



村民割引制度



ランチ券

移住者の店で終わらせない覚悟

地域を継続するために…

地域の人同士を含む人と人との繋がり

今に時代に合った新しい「結」の再構築を目指して…



## 目次

- 私の原点とミッション
- 現場で動いた1年4カ月の軌跡
- 茅葺きが教えてくれたこと
- 最初の企画と「地域の声」
- 日本の知恵を伝える生活道具店
- 大江町を暮らしの実験場へ
- 移住者の店で終わらせない覚悟
- **事業計画とクラウドファンディング**

事業計画とクラウドファンディング

2026年1月

夜座 初開催

みまろのりょう  
彩葉館 読書ハンズアウト・イベント

中區公興

古田敬樹栗隊公啓

知念隆知公

2月

3月

4月

キッチン・ト・博和上  
毎週火曜日新町 古田街 Sunaga Room 初業

5月

リヤカー茅葺きワークショップ

6月

クラウドファンディング開始

会津工人祭り買い付け

7月

オープン

事業計画とクラウドファンディング

ここは、大江を「知っている町」から  
「私の町」に変える場所。  
この町の明日を一緒につくる場所。

人と暮らしと道具と喫茶  
終結舎  
syu-yu-sya

応援と協力をよろしく申し上げます。

 **CAMPFIRE**

クラウドファンディング公開中



2026年6月 公開予定

## あなたの力を貸してください

- クラウドファンディング参加・いいね
- イベント・ワークショップへの参加
- 情報のSNSお声かけ・口コミ拡散
- 地域の人を紹介（大江町）
- 野菜や果物のご提供（大江町）
- あなたのお店の加工品製造（デザイン委託）
- 来店など…

柘結舎が行う町づくりへの参加方法はたくさんあります。

ここは、大江を「知っている町」から

「私の町」に変える場所。

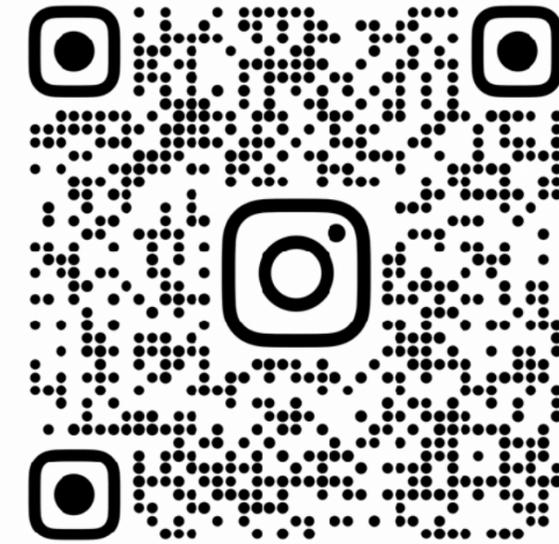
この町の明日を一緒につくる場所。

人と暮らしと道具と喫茶

終結舎

syu-yu-sya

2026年7月19日OPEN



SYUYUSYA